

芽高新聞

再刊289号

北海道芽室高等学校

新聞局

河西郡芽室町東めむろ

1条北1丁目6

発行責任者

上村 りの

吹奏楽部地区大会金賞

全道出場



楽しく悔いの残らぬ演奏を

8月5日、6日に行われた第62回帯広地区吹奏楽コンクールにて吹奏楽部はA編成で金賞を手にし、3年連続で全道出場の権利を得た。今回は部員たちに話を聞いた。

全道出場を決めた吹奏楽部のコンクールメンバーたち



両曲のトランペットソロパートを担当する菅谷さん



全道出場を決めた笑顔をみせる藤井さん

8月5日、6日に帯広市市民文化ホールで第62回帯広地区吹奏楽コンクールが行われ、芽室高校吹奏楽部がA編成の部に出場し、課題曲「スケルツァンド」と自由曲「吹奏楽の為の交響曲第1番」を演奏し金賞を受賞。そして全道コンクールに出場することが決定した。スケルツァンドとはイタリア語の音楽用語で

「軽快に」や「たわむれる」という意味で、その名の通りに疾走感があり、金管楽器がメインの曲である。そこで、トランペットパートリーダーの菅谷祐伽さん(3B)と部長の藤井明日香さん(3C)に話を聞いた。

一生の一度の

仲間と共に

藤井さんは、全道出場について「金賞を目指して頑張りたい」と意気込み、また部員に向けて「このメンバーで演奏できるのは一度きりなので悔いの残らないように演奏ができたらい」と、語ってくれた。

なお、北海道吹奏楽コンクール(全道大会)は、8月31日(木)に札幌コンサートホール Kitara 大ホールで行われる。

(相川)

(藤田)

きんぐきんぐ

今年B組の山口璃子さんを紹介します。



1年B組の山口璃子です。好きな食べ物はコロケで、嫌いな食べ物はサラダです。宝塚が好きで、好きなジェンヌさんは明日海りおさんです。将来の夢はタカラジェンヌになること。そのためには宝塚歌劇団に入らなくては行けないので、宝塚音楽学校に合格できるように頑張ります。応援してくれると嬉しいです。(鈴木麻)

皆さんは覚えてるだろうか。「キムクオ」の話を... (280号すばい参照)。我等が木村麻愛先輩。彼女はふわふわ天然な性格だ。そんな彼女の引退間近に起こった事件。

すばい74

夜空とかけてみて運がいいとくその心は...?



局説 自分で考えて発信すること

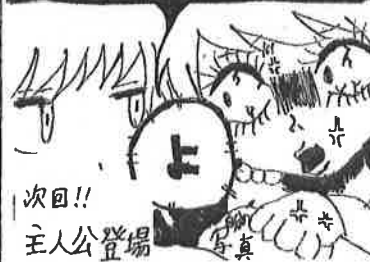
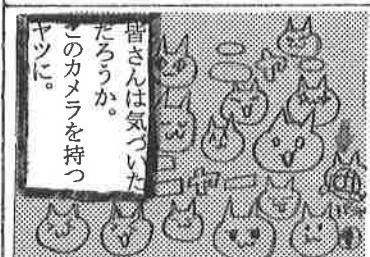
最近、世間を騒がせている北朝鮮のミサイル問題。それに伴い、戦争(8月が終戦記念日ということもあるが)や平和について、憲法9条や自衛隊近頃について。多くの芽室生も、ニュースなどで目にした事があるだろう。今から72年前、第二次世界大戦が起きていた事は小中学校の社会科で習

戦況は良くなかったが、国民には正確に伝えられなかったため、「日本は勝つ」と信じ続け、たとえ不自由で貧しい生活を強

比、言論の自由を手にしたはずの我々が、周囲を気にして発言する事を恐れ、自分の考えを強くとしてはいないだろう。

私達高校生は、未来を担う世代だ。北朝鮮のミサイル問題で騒がれている今だからこそ、この機会に、戦争の恐ろしさや平和の大切さについて考えたり、関連する本やテレビを見たり、戦争経験のある人に話を聞いたりして、自分自身の考えを持ち、かつ、発信していくことが大切だろう。

ガイジツ
作. ykas
その 2!!
ごんごしちめいけません。



なぞかけ茶会
どちらも同じ
(月・ツキ)があります。
3年生が引退し、自分は
けつこう寂しくなつてしまっ
たと思っています。さらに
男子部員が自分しかない
ため、寂しさが増してい
ます。ちなみに入部(男子
含)は、いつでも大歓迎で

局長 上村 りの (2A)
副局長 豊嶋 翔太 (2B)
編集長 藤田明日香 (2A)
相川 愛美 (1A)
高砂 萌衣 (1A)
鈴木菜々美 (1A)
根元 七穂 (1B)
村本 亜美 (1B)
鈴木 麻央 (1D)
森 仁美 (1D)
石森由香利 (1D)



銀行の仕事について語る細川さん

仕事をしたいって大変な事は「様々な年齢層のお客様と接するので、銀行の事をしっかりと理解していないといけない。失敗をしないと取り返しがつかない。だからこそ、勉強が大変ですね」と語る。そんな細川さんの趣味はカラオケ。アニメソングやボカロ(ボーカロイド)の曲を歌うそう。また、高校時代まで続いていた吹奏楽をサークルで活動していきたいと意気込む。

最後に、芽高生に向けて「高校生にしかできない事をしたい。そして、やりたいと思ったことは、やってみて」と語ってくれた。(鈴木菜)

また、ゼミ生からは、「真っ直ぐな電柱にもう一本が倒れ掛かる様子が人が支えあうように見えたら、カラフルな建物が多い、子育てしたいと思える温かい町」といった感想が寄せられた。(森)

7月27日から29日にかけて2年生のインターシップが行われた。今回参加した生徒は61名。受け入れ先は株式会社柳月や株式会社第一ホテル、ジョイフ

インターシップを終えて
株式会社柳月のインターシップに参加した鎌田桃歌さん(2D)は、「お菓子作りなどを実際に体験させていただきました。社員の方々に優しく教えてくれて、とてもいい経験になりました」と語る。また、須田留衣さん(2A)は「ホールと喫茶の両方を体験しました。最初は緊張していましたが、お客様に元気づけられ、素早く対応することができました」と語った。(上村)

現在社会で活躍する芽高OB・OGを特集する不定期連載「夢とき」。今回は、この春芽高を卒業し、北海道銀行芽室支店に就職した細川裕菜(ほそかわひろな)さんに、仕事やプライベートの話を聞いた。

細川さんが北海道銀行に就職しようと思ったきっかけは、「芽高の先生方に勧められたものもあるが、福利厚生がしっかりしており、働きやすいと感じたから」だそう。

現在は、窓口での接客業務が主な仕事。そして、「元方」という支店全体の現金を管理する重要な業務を担っている。

8月4日(金)に芽室町が企画した「芽室まち歩き」に我々新聞局1年が参加した。

まち歩きは3グループに分かれて実施。芽室町の「好きな・嫌いな・気になる」風景を写真に撮り、プレゼンテーションを行った。

なお今回、芽室町活性化のためのこの企画。町

8月26日、芽室高校で中学校説明会が行われた。中学生278名、保護者151名の計429名が来校した。

説明会では先生方や生徒会の生徒が学習や生活、進路などについて説明した。その後活動見学や施設見学が行われた。見学終了後、芽高の印象について、豊頃中学校の森楓さんは「想像より楽しそう」、上美生中学校の三輪さんは「行事がたくさんある」とそれぞれ語った。(根元)

7月27日から29日にかけて2年生のインターシップが行われた。今回参加した生徒は61名。受け入れ先は株式会社柳月や株式会社第一ホテル、ジョイフ

インターシップを終えて
株式会社柳月のインターシップに参加した鎌田桃歌さん(2D)は、「お菓子作りなどを実際に体験させていただきました。社員の方々に優しく教えてくれて、とてもいい経験になりました」と語る。また、須田留衣さん(2A)は「ホールと喫茶の両方を体験しました。最初は緊張していましたが、お客様に元気づけられ、素早く対応することができました」と語った。(上村)

銀行でも「勉強」は必須

芽室まち歩き

古きを知って新しき知る

中学校説明会 中学生へ芽高を紹介



8月26日、芽室高校で中学校説明会が行われた。中学生278名、保護者151名の計429名が来校した。

説明会では先生方や生徒会の生徒が学習や生活、進路などについて説明した。その後活動見学や施設見学が行われた。見学終了後、芽高の印象について、豊頃中学校の森楓さんは「想像より楽しそう」、上美生中学校の三輪さんは「行事がたくさんある」とそれぞれ語った。(根元)